

最終1月難関大本番レベル記述模試地理B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは0点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は0点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ0点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 字数オーバーは0点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは1点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は1点減点。

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

4 設問別加点要素

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

2

問5 Q 2点

ダルフルル (ダルフルルも可)

3

問1 5点

勾配が緩やかで流量の季節変化が少ない航行に適する河川が多い上に、それらが運河によって結びついたため。
(50字)

【加点ポイント】

- ① (自然的要因) 勾配が緩やかである →1点
- ② (自然的要因) 流量の季節変化が小さい／流域には年中平均して降水がある／西岸海洋性気候 (Cfb) が広がる →2点
- ③ (人為的要因) 運河によって結びついている →2点

問2 2点

複数の沿岸国を持ち、諸外国の船舶も自由に航行できる。

【加点ポイント】

- ① 複数の沿岸国を持つ／複数の国々を流れる →1点
- ② 諸外国の船舶が自由に航行できる →1点

4

問1 (2) 9点

当初は技術力の高い日本や韓国で生産が多かったが、製法が標準化すると人件費の安い中国に組立工場が増えた。最近では、中国一国への生産の集中はリスクが高いため、より人件費の安いベトナムに生産拠点が広がっている。(100字)

【加点ポイント】

- ★(1)で「A=日本 B=韓国 C=中国 D=ベトナム」を正解してなくても加点する。
- ① 当初は技術力が高い国々で生産が多かった →1点
 - ② (①の説明として) 日本／韓国 →1点
 - ③ 近年は中国での生産が中心となった →1点
 - ④ (③の理由として) 中国は人件費が安い →1点
 - ⑤ (③の背景として) 製法が標準化した →2点
※「携帯電話生産は労働集約型工業の特徴を有する」の場合は1点のみ加点
 - ⑥ 最近ではベトナムの生産も広がっている →1点
 - ⑦ (⑥の理由として) ベトナムは人件費が(中国よりも)安い／中国の人件費が相対的に上昇した →1点
※単に「ベトナムは人件費が安い」の場合も許容とし、1点加点する
 - ⑧ (⑥の理由として) 中国への生産集中はリスクをとまなう →1点

問2 (2) 8点

Pは冷凍輸送の必要な加工後に輸送費が高くなるため大消費地近郊に、Rは常温で運べる加工後の方が、加工前の生鮮品より輸送費が安いから、原料産地に工場が立地しやすい。(80字)

【加点ポイント】

★(1)で「P＝ア R＝イ」を正解してなくても加点する。

①P（アイスクリーム）は大消費地近郊に立地しやすい →2点

②（①の理由として）輸送費が高くなるため →1点

③（②の理由として）冷凍輸送が必要であるため →1点

④R（水産缶詰・瓶詰）は原料産地に工場が立地しやすい →2点

⑤（④の理由として）（加工前の生鮮品よりも）輸送費が安い →1点

⑥（⑤の理由として）製品は常温で輸送できるため／原材料が生鮮品であるため →1点